

クラス番号	327	担当教員名	山崎 康一郎
		他専修学生受入上限人数	2名
テーマ	自分自身と相手をふかく知って、「よりそう」支援を実践できるようになる キーワード：心理的ケア、子ども虐待、社会的養護における心理治療的支援、障害児の療育		

ゼミナール概要

☆人と社会をより深く理解し、新しい価値を創造できるような多様な視点を持って、支援現場の高度なニーズに応え、「よりそう」という思いを実現できる実践力を高めてほしいと思います。

☆心理学は便利な道具なので、カウンセリング、セラピーの視点やスキルを使って、支援の力を高めましょう。

【教員の関心事項】福祉領域における心理的ケア・心理療法に関心があります。

①臨床心理：児童養護施設、福祉型障害児入所施設などにおける、被虐待経験のある子どもへの心理治療的な生活支援（治療的養育・環境療法）やトラウマへの対応、アタッチメント形成の支援

児童養護施設で、よい人間関係づくりのプログラム（境界線、認知行動療法）を開発・実施中です。

②障害児心理：障害のある子どもや家族の心理的困難への応用行動分析（ABA）、SST、PEERS による支援。

③犯罪心理：犯罪心理鑑定。非行・犯罪やトラウマへの心理プログラム（Good Way Model）を用いた支援。

＜論文＞「コンテインメントとバウンダリーによる家庭的養育における生活支援の分析—トラウマを抱えた児童との親密な関係性における生活支援の課題と対応—」『社会的養護研究』3 （2023）

「児童養護施設における恋愛・交際・性行動への支援の現状について—職員へのインタビュー調査による支援過程の分析—」『社会的養護研究』4 （2024）

【授業計画①・内容】自分自身や他者の思いを深く知り、よりそうための視点と方法を身に着ける。

★ゼミ生の主体性と学生同士の学び合いを大切にしています。また、子ども、障害のある方、その家族、支援者との出会いから、多くを学んでほしいと思います。学生間の交流や現場での体験を行いたいと思います。

★虐待によるトラウマのケア、アタッチメント形成の支援、障害児や家族への支援ができるように、心理アセスメントやカウンセリング、セラピーを基にしたスキルを身に付けていきましょう。不安やトラウマのケアとして TFT（Thought Field Therapy）、トラウマインフォームドケア、人間関係の支援として SST やバウンダリー支援、子育てや障害児への支援として家族面接や ABA を実践できるように、面接練習を行います。

★支援スキルとして、希望者は TFT パートナー、SST ファーストレベルが修得できるようにサポートします。

★児童養護施設、障害児通所施設（児童発達支援・放デイ）での見学・事例検討や少年鑑別所見学を行います。

★他ゼミや、他大学のゼミ（心理学のゼミ）と交流・合同ゼミ、ゼミ合宿があります。

【授業計画②・卒業論文】

論文作成を通じて、一つずつ課題を解決する力を身に付けてください。興味関心からテーマをみつけて、現場での支援や、アルバイト、子どもをはじめ様々な支援を必要とする方との出会いを通して深めていきます。根拠を示しながら、新しい発見や問題意識に対する解決策を提示します。SNS、自己肯定感、完璧主義、推し、アイドル、友人関係、恋愛、不登校、リストカット、化粧、非行、ゲーム、クレマーが人気のテーマです。



詳しくはこちら
をどうぞ！！
大学アカウント
n-fukushi から
ご覧ください



謎とき
ヒント

謎とき
こたえ



担当教員からのメッセージ

私は大学3年生の時に保育士（保母）を取得し、児童福祉施設で勤務しました。被虐待経験や非行など困難な問題に直面し、必要に迫られ、仕事をしながら社会福祉士、臨床心理士を取得しました。支援を必要とする方によりそうには、悩み続けること、学び続けること、有効なスキルを修得することが大切です。人に関心があり、様々な体験にひっかかりをもって、自ら、みて、きいて、考えて、学んでいける姿勢があるといいですね。また、人とのかわりを楽しみながら、自分自身をふり返し、開示ができると学びが深まるでしょう。▶子ども支援の基本は遊びです、遊べる大人になりましょう！